

第5章 滝遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

滝遺跡は武蔵野台地の北東端、荒川低地に舌状に突き出た武蔵野段丘面の台地東側の一段低い立川段丘面の縁に立地している。

「滝」の地名は、近年までこの段丘上から滝が落ちていたことに由来する。北西側は段丘面、北東側は新河岸川を挟んで荒川低地の沖積地と接し、南側は排水溝として利用される緩やかな小支谷を流れる旧清水に挟まれ、標高9～12m前後の微高地を形成する。遺跡の範囲は南北250m、東西500m以上ある。宅地開発が進むが部分的に畑が残っている。

周辺の遺跡は、北西側の段丘上に縄文時代前期、中期、晩期、古墳時代の遺跡である著名な上福岡貝塚と権現山遺跡群が新河岸川沿いに並び、旧清水を挟んだ南側には、縄文時代、飛鳥時代、中近世の長宮遺跡が広がる。

1976年以降宅地開発等に伴う緊急調査が増加し、遺跡の谷口に当たる旧丸橋遺跡(1981年の変更増補で滝遺跡と合併)で古墳時代前期と後期の住居跡を

検出して以来2017年3月末現在、31ヶ所で調査を行っている。なお、本遺跡の第3・5・9～11次調査、1995年度試掘調査・2002年度試掘調査(1)は権現山遺跡の範囲に入っているため、今後は本遺跡では欠番とし、権現山遺跡1・2・5～7・14・17地点とする。

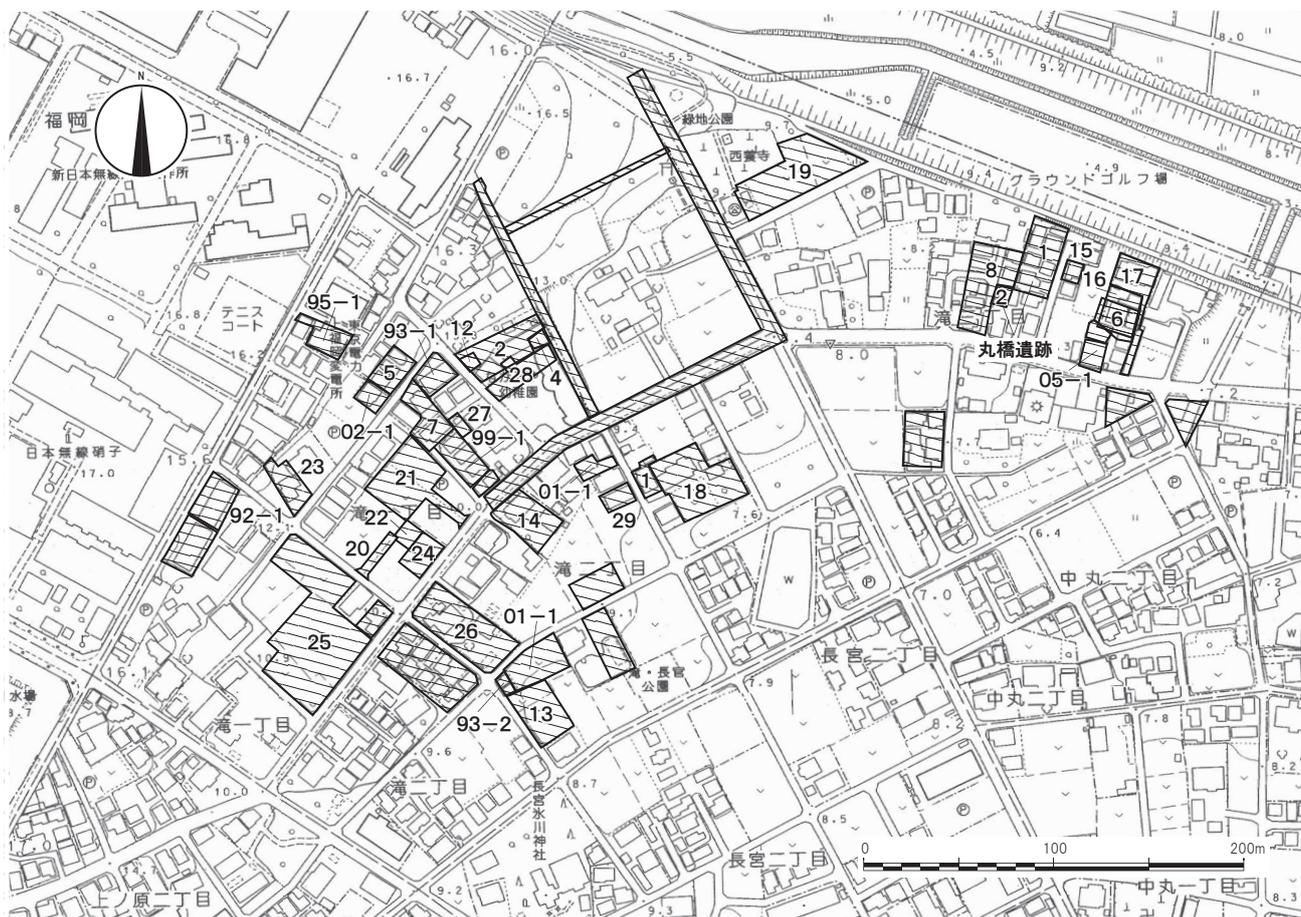
遺跡の主たる時代と遺構は、縄文時代早期・前期の土坑、古墳時代から奈良・平安時代の住居跡、近世の段切り遺構(集石を伴う)である。

II 滝遺跡第24地点

(1) 調査の概要

調査は分譲住宅建設に伴うもので、原因者より2014年6月17日付けで、「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の西部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2014年7月16日～18日に試掘調査を実施した。

試掘調査は、幅約1.5mのトレンチ5本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。現



第13図 滝遺跡の地形と調査区(1/4,000)

地表面から遺構確認面の黒褐色土層までの深さは約60 cm、地山ローム層まで80～100 cmである。

トレンチ1とトレンチ3で遺構らしきプランを確認した。遺構の性格を確認するため一部検出を行った。旧石器時代の確認調査は行っていない。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻し、調査を終了した。

(2) 遺構と遺物

【土坑1】土坑1は調査区東端に位置する。

平面形態は不整形を呈する。規模は確認面径187×162 cm、底径162×160 cm、深さ30.8 cmである。

覆土層から須恵器の坏がまとまって出土した。須恵器坏の時期は8世紀前半である。遺物の詳細は第13表参照。

【土坑2】土坑2は調査区の北端隅に位置する。

平面形態は円形を呈し底部が二つに分かれる。規模は確認面径117×100 cm、底径30×24 cm、深さ84.8 cmである。

覆土層から須恵器と土師器壺の口縁部が出土した。遺物の時期は7世紀後半から8世紀前半である。遺物の詳細は第13表参照。

【ピット1・2】ピットはトレンチ3で2基検出した。ピット1とピット2は接する。土層の観察から古代以降とみられる。

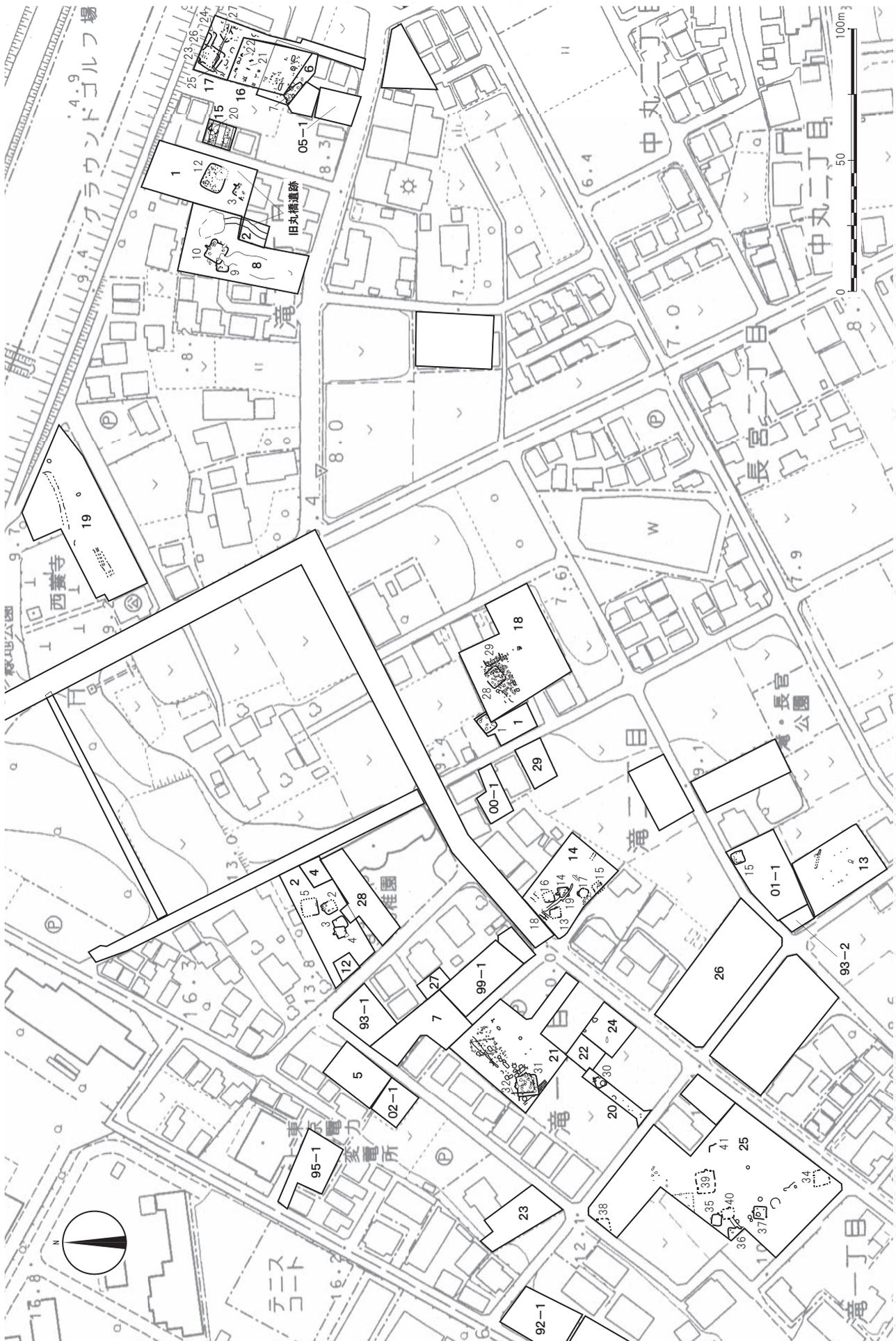
ピット1の平面形態は不整形であるが底部は長方形である。規模は確認面径60×45 cm、底径20×10 cm、深さ61.4 cmである。

ピット2の平面形態は不整形である。規模は確認面

第12表 滝遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 ()は試掘調査	面積(m ²)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書	備考
丸橋1次	滝3-3-77～81	(1976.6.26・27) 1976.7.24～8.12	543	建売住宅	古墳前期住居跡1・後期住居跡1	上福岡市遺跡調査報告書	丸橋遺跡は滝遺跡へ統合
丸橋2次	滝3-3-13	1978.7.26～8.6	210	住宅建設	古墳前期土坑1、現代溝1	埋蔵文化財の調査(Ⅰ)	
1次	滝2-6-11	1978.10.2～13	129	住宅建設	住居跡1、土師器	埋蔵文化財の調査(Ⅰ)	
2次	滝1-4-2	1979.4.15～5.7	278	幼稚園プール	住居跡5、周溝、土坑、長襲、土器	埋蔵文化財の調査(Ⅱ)	
3次	滝1-4-15	1980.6.27～7.3	76	住宅建設	権現山遺跡1地点に変更。欠番とする。	埋蔵文化財の調査(Ⅲ)	権現山遺跡へ変更
4次	滝1-4-15	1980.7.7～12	105	住宅建設	遺構なし、平安土師器片	埋蔵文化財の調査(Ⅲ)	
5次	滝1-3-21	1980.7.20～31	330	住宅建設	権現山遺跡2地点に変更。欠番とする。	埋蔵文化財の調査(Ⅲ)	権現山遺跡へ変更
6次	滝3-3-6	1980.11.20～12.2	166	住宅建設	縄文土坑、奈良住居跡2、縄文早期土器、石器、奈良土器他	埋蔵文化財の調査(Ⅲ)	
7次	滝1-1-19	1981.7.30・31	400	個人住宅	遺構なし、縄文土器片	埋蔵文化財の調査(Ⅳ)	
8次	滝3-3-15他	1983.11.14～26	990	住宅建設	古墳住居跡2	埋蔵文化財の調査(Ⅵ)	
9次	滝1-4-4	1984.5.11～22	466	住宅建設	権現山遺跡5地点に変更。欠番とする。	埋蔵文化財の調査(Ⅶ)	権現山遺跡へ変更
10次	滝1-3-17	1984.6.1～12	363	住宅建設	権現山遺跡6地点に変更。欠番とする。	埋蔵文化財の調査(Ⅶ)	権現山遺跡へ変更
11次	滝1-4-2	1984.6.28～30	33.12	物置建設	権現山遺跡7地点に変更。欠番とする。	埋蔵文化財の調査(Ⅶ)	権現山遺跡へ変更
12次	滝1-4-2	1984.12.22～24	94	住宅建設	遺構遺物なし	埋蔵文化財の調査(Ⅶ)	
92試(1)	滝1-2-14の一部	(1992.7.6～8)	400	倉庫建設	遺構遺物なし	埋蔵文化財の調査(Ⅰ5)	
93試(1)	滝1-1-4	(1993.4.23～28)	313.08	共同住宅	遺構遺物なし	埋蔵文化財の調査(Ⅰ6)	
93試(2)	滝2-2-7	(1993.8.25)	99	個人住宅	遺構遺物なし	埋蔵文化財の調査(Ⅰ6)	
95試(1)	滝1-3-13	(1995.11.27～30)	462	共同住宅	権現山遺跡14地点に変更。欠番とする。	埋蔵文化財の調査(Ⅰ8)	
99試(1)	滝1-1-6	(1999.10.21～26)	511.09	宅地造成(土地分譲)	遺構遺物なし	埋蔵文化財の調査(Ⅱ2)	
00試(1)	滝2-5-20	(2001.1.23・24)	154.7	個人住宅	遺構遺物なし	埋蔵文化財の調査(Ⅱ3)	
01試(1)	滝2-2-8	(2001.4.17～20)	519.64	共同住宅	奈良初頭住居跡1	埋蔵文化財の調査(Ⅱ4)	
02試(1)	滝1-3-49	(2002.5.29・30)	165	個人住宅	権現山遺跡17地点に変更。欠番とする。	埋蔵文化財の調査(Ⅱ5)	
05試(1)	滝3-3-5・143	(2005.6.24～27)	350	個人住宅	遺構遺物なし	市内遺跡群1	
立会	滝1-4-1・26・27	(2006.4.15)	2,492	幼稚園	遺構遺物なし		
12	滝2-5-3・4の一部	2007.2.6	472	個人住宅	遺構遺物なし	市内遺跡群3	
13	滝2-2-6	2007.10.24～11.1	737.7	共同住宅	焼土範囲2、ピット8	市内遺跡群4	
14	滝2-5-11・17	(2007.11.8～19) 2007.11.20～12.6	692	分譲住宅	住居跡7、溝3、井戸1、須恵器、土師器	市内遺跡群4	
15	滝3-3-84	(2009.9.2～14) 2009.10.23～11.6	100	分譲住宅	8世紀住居跡1、井戸1、土坑8、ピット20、須恵器、土師器、紡錘車	市内遺跡群7	
16	滝3-145	(2009.12.2～14)	434	宅地造成	ピット3	市内遺跡群8	
17	滝3-3-6・144	(2010.5.6～6.18)	331	分譲住宅	奈良平安時代住居跡5、井戸1、土坑4、溝2、集石	市内遺跡群10	
18	滝2-6-4・6	(2011.6.6～13) 2011.6.14～7.14	1164	個人住宅	古墳時代住居跡2他、土師器、近世陶磁器等	市内遺跡群14	
19	滝3-4-2	(2011.10.17～24)	1,277.16	分譲住宅	溝2、陶磁器等	市内遺跡群14	
20	滝1-8・9	(2012.5.9～11)	124.45	道路築造	奈良・平安時代住居跡1、時期不明井戸、土坑、ピット	市内遺跡群12	
21	滝1-1-7・26・31	(2012.5.11～21) 2012.7.17～8.25	1,176.25	共同住宅	奈良平安時代鍛冶付住居跡1(H31)・奈良平安時代住居跡2(H32・H33)、 独立柱建物跡、井戸、溝、土坑、ピット、須恵器、土師器、鍛冶関連遺物他	市内遺跡群12	
22	滝1-1-40	(2013.7.30)	114	個人住宅	遺構遺物なし	市内遺跡群18	
23	滝1-3-5の一部	(2014.2.12)	371	個人住宅	遺構遺物なし	市内遺跡群18	
24	滝1-1-8の一部	(2014.7.16～18)	222.8	分譲住宅	奈良平安時代と見られる土坑2、ピット2	市内遺跡群20	
25	滝1-2-4・32	(2014.7.18～8.26) 2014.9.8～10.31	2,804	宅地造成	古代住居跡8(H34～H41)、 掘立柱建物跡1、井戸4、土坑3、溝2、ピット23、須恵器、土器	市内遺跡群16	
26	滝2-5-6・8	(2015.10.19～27) (2016.8.24～9.9) 2015.11.9・10	1,231	個人住宅及び貸家住宅	縄文時代落とし穴1、 古代住居跡2(H42・H44)、 時代不明井戸5、土坑7、 ピット46、縄文土器、石器、土師器	未報告	
27	滝1-1-25	(2015.11.27～12.1)	155	分譲住宅	古代住居跡1(H43)、 ピット、土師器、硯	未報告	
28	滝1-4-4・26・27	(2016.9.3～6)	2,492	幼稚園舎建設	住居跡1、土師器、支脚	未報告	
29	滝2-5-46	(2016.11.10)	150	個人住宅	溝2、縄文土器、土師器	未報告	
30	滝1-1-3	(2017.2.13～15)	303	分譲住宅	遺構なし、縄文土器	未報告	
31	滝1-1-3	(2017.2.13～15)	109	個人住宅	遺構遺物なし	未報告	

* 理：上福岡市教育委員会埋蔵文化財の調査報告書、上遺調：上福岡市遺跡調査会報告書、教委：上福岡市教育要覧、市内：ふじみ野市市内遺跡群報告書

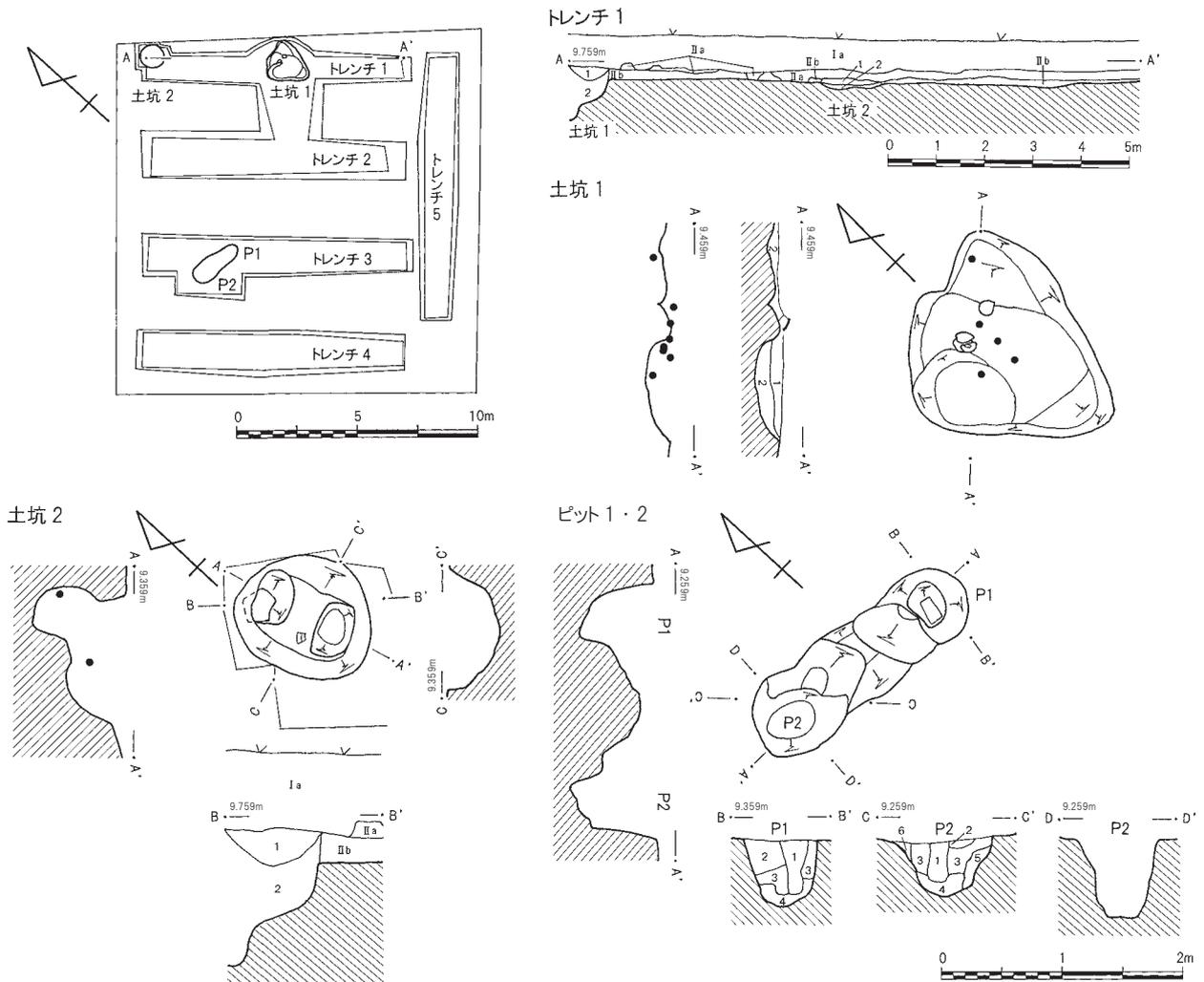


第14図 滝遺跡遺構分布図 (1/2,000)

径60×45cm、底径42×28cm、深さ73.6cmである。
【出土遺物】第24地点出土遺物は、土坑1・2と遺構外出土のものを16点掲載した。各遺物の詳細は第13表のとおりである。

1～9は土坑1出土である。1～4は須恵器の坏で胎土に海綿状骨針を含む。底部は回転糸切後に回転篋削りを行う。5は大型の底部で1～4同様である。6、

7は土師器の坏である。6は続比企型坏。8、9は羽口の先端部である。本地点の北側約25mに位置する第21地点H31B号住居跡には鍛冶炉が確認されている。また羽口、鉄滓、炭化物等の鍛冶関連遺物が出土しており、今回出土した羽口との関連も考慮する必要がある。10～13は土坑2、14～16は遺構外出土である。土坑1出土遺物は8世紀前半である。



表土

I a. 暗黄灰色土 締り弱～強、粘性有、耕作土、上部は締り弱い自然堆積

II a. 黒褐色土 締り強、粘性有、混入物は少ない、シミ状にII b層土少し含む

II b. 暗黄灰色土 締り強、粘性有、漸移層、混入物は少ない

土坑1

1. 黒褐色土 締り強、粘性有、II aより黒色味強い、シミ状にII b層土・2mm以下ローム粒少し含む、壁際はやや酸化が目立つ
2. 黄褐色土 締り強、粘性有、暗黄灰色土主体にシミ状のロームブロック・黒褐色土(9cm以下)多く、斑状に含む

P1

1. 黒褐色土 締り有、粘性有、5～10mmロームブロック少し、3mm以下ローム粒やや多く含む
2. 黒褐色土 締り強、粘性有、やや色調明るめ、5mm以下ロームブロック・シミ状に1cm以下暗黄灰色土ブロック少し含む

3. 黒褐色土 締り強、粘性有、2層より黒色味強い、5～10mmロームブロック・3mm以下ローム粒少し含む

4. 黄褐色土 締り強、粘性有、ローム土・暗黄灰色土・黒褐色土が混ざる

P2

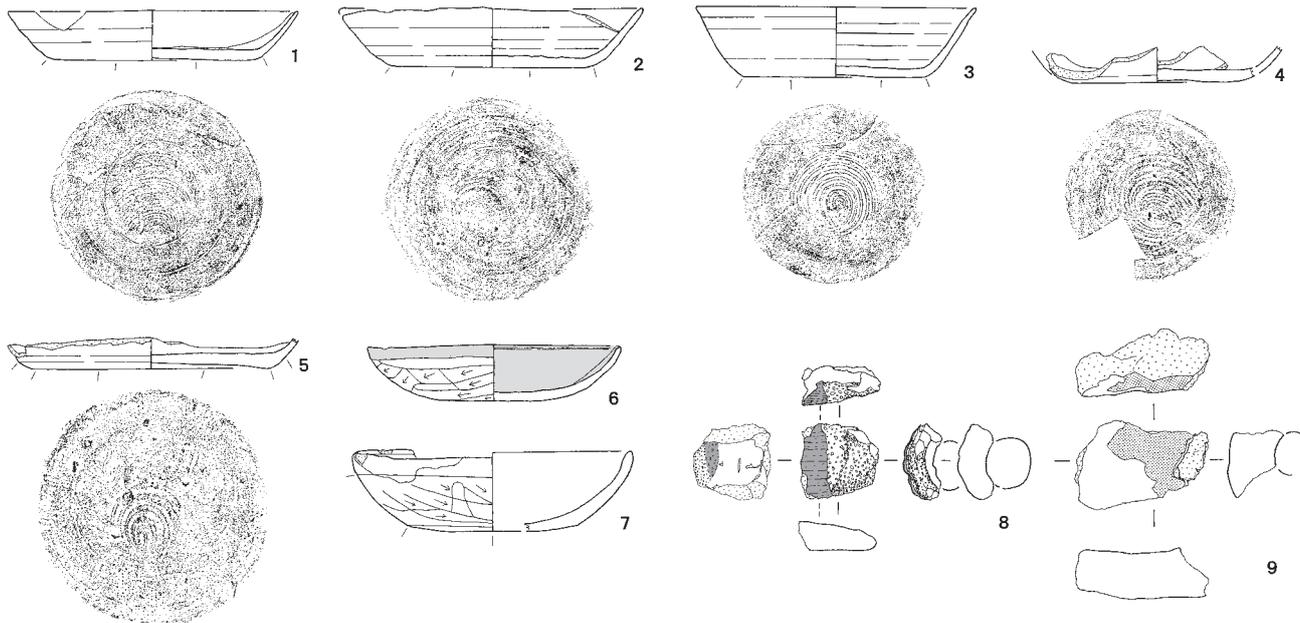
1. 黒褐色土 締り有、粘性有、5～10mmロームブロック少し、3mm以下ローム粒やや多く含む、P1の1層に似る
2. 黒褐色土 締り強、粘性有、黒色味強い、5mm以下ローム粒多く含む
3. 黒褐色土 締り強、粘性有、シミ状に4cm以下暗褐色土ブロック多く、5mm以下ローム粒少し含む
4. 黒褐色土 締り強、粘性有、4cm以下ロームブロック・5mm以下ローム粒多く含む、ベースの色は黒色味強い
5. 黒褐色土 締り強、粘性有、5mm以下ローム粒少し含む
6. 黒褐色土 締り強、粘性有、色調明るめ、3mm以下ローム粒少し含む

第15図 滝遺跡第24地点遺構配置図(1/300)、土層(1/150)、土坑・ピット(1/60)

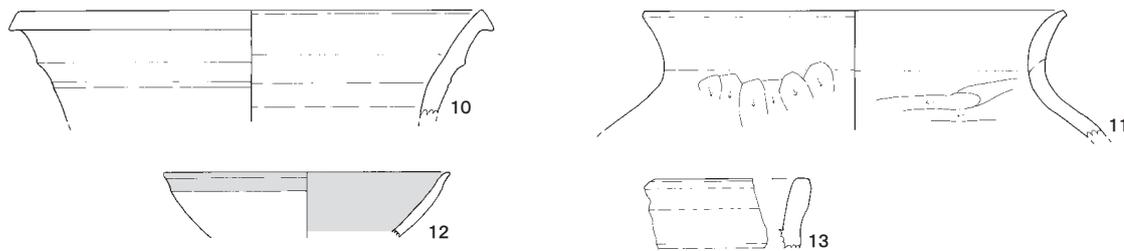
第13表 滝遺跡第24地点出土遺物観察表 (単位 cm・g)

図No.	出土遺構	種別・器種	口径・長さ	底径・幅	高さ・厚さ	技法・文様・その他	推定産地	推定年代
1	土坑1	須恵器・坏	15.3	11.3	2.6	底部回転糸切り後、底部回転へら削り・胎土に海綿骨針含む、口縁部にスス附着	南比企産	8世紀前半
2	土坑1	須恵器・坏	15.8	10.7	3.1	底部回転糸切り後、底部回転へら削り・胎土に海綿骨針含む	南比企産	8世紀前半
3	土坑1	須恵器・坏	14.6	9.5	3.8	底部回転糸切り後、底部回転へら削り・胎土に海綿骨針含む	南比企産	8世紀前半～中葉
4	土坑1	須恵器・坏	(13.1)	9.0	(2.0)	底部回転糸切り後、底部回転へら削り・胎土に海綿骨針含む	南比企産	8世紀前半
5	土坑1	須恵器・坏	(15.3)	12.5	(1.6)	底部回転糸切り後、底部回転へら削り・胎土に海綿骨針含む・底部内面に剥離痕	南比企産	8世紀前半
6	土坑1	土師器・坏	13.4	8.4	3.0	外面へら削り、内面と外面口縁部に赤彩	-	8世紀前半
7	土坑1	土師器・坏	14.8	8.8	4.2	外面へら削り	-	8世紀前半
8	土坑1	羽口	(4.1)	(4.1)	(1.4)	鍛冶用羽口先端部・外面と内面先端発泡・内外面灰色に被熱・外面ケズリ調整	-	-
9	土坑1	羽口	(7.0)	(4.6)	2.4	鍛冶用羽口体部・外面一部が灰色に被熱・胎土に炭状繊維含む	-	-
10	土坑2	須恵器・甕	(24.4)	-	(5.7)	口縁部内外面ナデ・胎土に海綿骨針含む	南比企産	7世紀末～8世紀前半
11	土坑2	土師器・甕	(22.0)	-	(6.7)	口縁部ナデ・外面体部へら削り・内面体部ナデ・還元	-	8世紀前半～中葉
12	土坑2	土師器・坏	(15.0)	-	(4.5)	内面と外面口縁部に赤彩あり	-	8世紀前半
13	土坑2	須恵器・甕	(6.6)	(3.0)	(1.0)	口縁部のみ残存	-	-
14	遺構外	縄文土器・深鉢	(4.4)	(7.6)	(1.8)	縦位LR・隆帯懸垂文	-	中期・加曾利E
15	遺構外	縄文土器・深鉢	(3.2)	(3.1)	(1.0)	縦位櫛歯状工具文	-	中期・曾利系
16	遺構外	須恵器・甕	(4.5)	(9.4)	(1.0)	外面平行タキ後回転ナデ調整・内面回転ナデ調整・外面に自然軸・胎土に海綿骨針含む	南比企産	-

土坑1



土坑2



遺構外



第16図 滝遺跡第24地点出土遺物(1/4)



滝遺跡第 24 地点調査風景



滝遺跡第 24 地点土坑 1 遺物出土状況



滝遺跡第 24 地点土坑 1 遺物出土状況



滝遺跡第 24 地点土坑 1



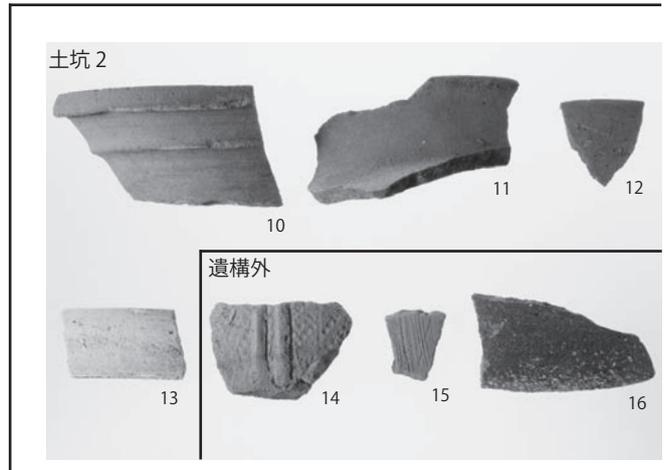
滝遺跡第 24 地点土坑 2



滝遺跡第 24 地点ピット 1・2



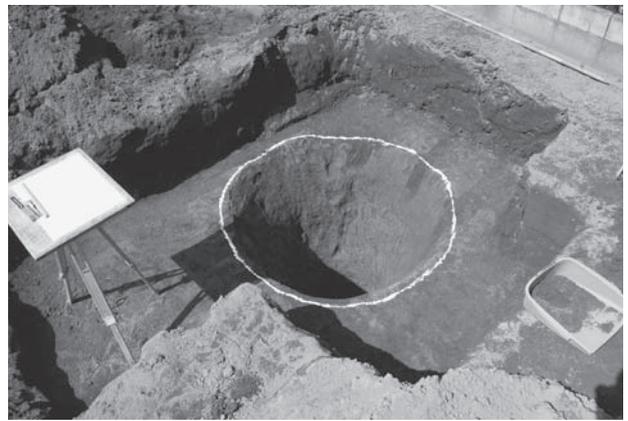
滝遺跡第 24 地点出土遺物



滝遺跡第 24 地点出土遺物



長宮遺跡第 48 地点調査風景



長宮遺跡第 48 地点井戸



長宮遺跡第 48 地点井戸



長宮遺跡第 48 地点井戸土層